

第7回 阪神高速道路株式会社経営改善委員会  
議 事 概 要

1. 日時：平成25年7月17日（水） 16:30～18:15

2. 場所：阪神高速道路㈱役員会議室

3. 出席者

【委員】 斎藤委員長、正司委員、矢野委員

川邊委員（代理：関西経済連合会地域連携部 神田部長）

4. 議事要旨

「議事「経営改善計画アクションプラン(平成24年度)」の実施内容、「経営改善計画アクションプラン(平成25年度)」の取り組み」について、事務局より説明の後、委員から以下のとおり助言が出された。

- 1.平成25年度のコスト縮減については、個別の施策では実績をもとに見直しをしているにもかかわらず目標総額が昨年度と同様のレベルにある点について、大きな目標を動かしていないことに対し、高く評価したい。
- 2.発注の競争性・透明性について、必ずしも随意契約より競争入札がよいということではない。随意契約であっても、そのプロセスを明確にして説明できるようにしておくことが大事であり、これにより公平性は確保できる。
- 3.コスト縮減の継続は重要だが、安全・安心の維持の観点から、どこまでのコスト縮減が技術的限度なのかについて分析するとよいのではないかと。
- 4.コスト縮減の成果を割引に充てるのではなく、維持補修に使う方が社会的メリットが大きいということも考えられる。
- 5.ミッシングリンクの解消については、経済界でも非常に関心が高く、今後も議論していきたい。その際には、関西特有の都市構造や地理的な特性を理解してもらうことが前提。
- 6.平成25年度も昨年度と同様に経営改善計画アクションプランに基づき、阪神高速グループの総力を挙げて経営改善に取り組んでもらいたい。

以 上